

日常生活の指導 学習指導略案

あさひ子学級 2組 2名 指導者 大河原 徹也

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 子ども一人一人が一日の見通しをもつことができる内容であったか。
- 子ども一人一人が自発的に活動できる内容であったか。

1 題 材 すすんで楽しく活動しよう

2 題材について

(1) 題材の価値

本学級においては、1校時に「日常生活の指導」の時間を帯状に設定し、朝の会を中核に据え、様々な指導を展開している。

本題材は、子どもたちが朝の会をはじめとする様々な活動や役割を行う中で、自己有用感を感じたり、様々な活動における自分の成長や上達から成就感や満足感を得たりするという点で、1日のスタートの1校時に設定できる格好の題材といえる。また、毎日、一定時間にほぼ同じような活動を繰り返し行うので、子どもたちは自分の課題をより理解しやすくなり、その課題に取り組むことにより様々な力を獲得していくことができる。

例えば、子どもたちは毎日黒板に書かれた教師からのメッセージ（モーニングメッセージ）や日にち、天気を読む活動を行っている。カレンダーの学習では「おととい」「きのう」「きょう」「あした」「あさって」「しあさって」のシールを貼ることで、子どもたちは時系列的な感覚を身に付けたり、日にちの用語を理解したりすることができる。その後、教師が示した指示カードに従い、課題別学習「集中タイム」に取り組んでいる。このように、子どもたちはこの題材における活動を通して様々な力を獲得していくことができる。他にも、あいさつの仕方や言葉づかい、集団での決まり、当番活動における自分の役割、身辺処理の自立など、様々な力を身に付けていくことができる。そして、子どもたちはみんなできいきと楽しく活動することにより、主体的に活動し、共に学び合いかわり合う中で、基本的生活習慣の定着を図り、豊かに生きる力を育てていくことにつながるものと考えている。

(2) 子どもの実態

子どもたちは、この題材における活動や役割を繰り返し行う中で、各自の課題を一つずつ解決している。この題材における子どもたちの現段階での主な課題は次の通りである。

児童(学年)	性別	主 な 課 題
A児(1年)	男	<ul style="list-style-type: none"> ○ 着席すべき時に着席し、一定の時間集中して課題に取り組むことができる。 ○ 集団の中で友達と共に行動することができる。 ○ 「姿勢」「気をつけ」の姿勢を一定の時間維持することができる。 ○ 曜日を知ることができる。 ○ 相手の話を最後まで聞き、言葉を介しての人とのやりとりをすることができる。 ○ 当番活動を最後まで行うことができる。 ○ 平仮名の拾い読みをすることができる。 ○ 相手が聞き取れる程度の適切な速さと音量で発声することができる。
B児(4年)	男	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「姿勢」「気をつけ」の姿勢ができる。 ○ 相手が聞き取れる程度の適切な音量で発声することができる。 ○ 言葉を介しての人とのやりとりをすることができる。 ○ 友達の当番活動を手伝うことができる。 ○ 相手に自分の要求を伝えることができる。 ○ 相手の状況を考えた言動をとることができる。


(3) 指導に当たって

子どもたちが各自の課題を解決できるように、繰り返しの活動を設定するとともに、賞賛を十分に行うようにする。また、繰り返しの活動に当たっては、活動内容に広がりや深まりをもてるように、活動メニューを徐々に変えるようにする。

3 年間目標

- (1) 楽しい雰囲気の中で活動することにより、情緒の安定を図るとともに、今日の日やこれからの生活に楽しみや見通しをもつことができるようにする。
- (2) 割り当ての当番活動を進んで果たしたり、活動への取組の充実を図ったりすることができるようにする。
- (3) 場面に応じたあいさつや、人とのやりとりができるようにする。
- (4) 文字・文章・数・音楽に親しみ、関心をもつことができるようにする。
- (5) 時間や時刻が分かり、「今日、明日、明後日、昨日、今週、来週、再来週、先週」などの時を表す言葉を分かることができるようにする。
- (6) 話す、聞くなどの学習の基礎を身に付けることができるようにする。

4 指導の実際

[] 子どもの意識  教師の手立て ※評価

時	主な学習活動と教師の手立て・評価	
10	1 朝の会をする。 (1) 朝のあいさつをする。 (2) 健康観察をする。 [・元気よくあいさつをしよう。 ・〇〇くんは大きな声だな。僕も大きな声であいさつをしよう。]	よい姿勢ができている子どもを賞賛し、よい姿勢ができていない子どももできるように促す。 名前を呼ばれたらはっきりと返事ができるように「大きな声で『はい』と返事をしようね。」と声掛けをする。
	(3) 今月の歌を歌う。 [・歌を歌うのは楽しいな。 ・少し恥ずかしいな。 ・先生のようにはっきり歌うぞ。]	※ よい姿勢であいさつをしたり、言葉のやりとりをしたりすることができる。 適切な音量で歌うことができるように歌詞に注目させ、教師自らが、一音一音指さしながらはっきりと歌う。
35	2 当番活動をする。 日直は健康観察簿を保健室へ持って行く。他の子どもたちは、その間に当番活動をする。 [・廊下を歩いて保健室へ健康観察簿を持っていこう。 ・当番活動が終わったから、先生に「終わりました。」と伝えよう。]	子ども自らが当番活動を進めることができるように、活動の様子を撮った写真と活動内容を文字で表したカードを用いる。 当番活動が終了した際は、教師に「終わりました。」と伝えることで、活動と活動の区切りをつけさせるようにする。教師は、「やったマーク」を子どもに与え、活動終了の達成感をもつことができるようにする。
	3 モーニングメッセージを読む。 [・早く読みたいな。 ・上手に読めるかな。 ・元気に読むぞ。]	※ 進んで当番活動に取り組むことができる。 音読や平仮名の拾い読みに対する自信が深まるように、よかったところを話し、大いに賞賛する。
	4 カレンダーや時間割表で一日の見通しをもつ。 [・今日もがんばろう。 ・この後は〇〇があるのだね。 ・わくわくするな。]	今日の予定や一週間の楽しみや見通しをもつことができるように、カレンダーや時間割表を確認する活動を設定する。 子ども自身で課題別学習を進めることができるように指示カードを準備する。
	5 「集中タイム」をする。 [・今日は〇〇をがんばるぞ。 ・100点をとって□□したいな。]	※ 指示カードに従い、課題別学習に取り組むことができる。
6	6 次の学習の開始時刻を確認する。	次の学習開始時刻を確認できるように、模型時計を準備し、開始時刻を表す活動を設定する。